

## 区民部会からの報告

### 1. 令和5年度 赤羽地区・滝野川地区まちあるき点検について

#### 1-1. 開催目的

地区別構想で設定した生活関連施設及び生活関連経路のうち、特定事業者から点検要望のあった施設・経路を対象に点検を実施し、障害当事者等の意見をバリアフリー整備に直接反映するとともに、事業者と区民の協働による特定事業の推進を目的としています。

また、まちあるき点検でいただいた意見については、個々の施設に関する意見はその施設の管理者へフィードバックします。また、協議会を通じて共有し、各事業者の取組みに反映いただけるよう働きかけていきます。

#### 1-2. 開催概要（A班:赤羽地区 B班:滝野川地区）

##### ■日時

令和5年10月16日（月） 【A班】13時30分～15時00分  
【B班】13時30分～14時35分

##### ■参加者

【A班】区民部会委員 3名、事務局 4名  
【B班】区民部会委員 10名、事務局 4名

##### ■当日のながれ

現地集合 → 開会・説明 → 現地確認 → 閉会

##### ■点検対象

地区	点検対象施設	点検の視点	事業者からの要望等
赤羽 (A班)	医療法人財団逸生会 大橋病院	・建替えによるバリアフリー化された施設の整備	・移転工事予定があるため点検を要望
	生活関連経路 (赤-03)	・複合施設整備に併せた道路改修	・昨年度工事中であったため十分な点検ができなかったが、工事が完了したため点検を実施
滝野川 (B班)	滝野川体育館	・利用者動線を含めた全体的なバリアフリー状況の確認	・防災センターとあわせて大規模改修計画を進行中のため点検を要望
	滝野川公園	・園内出入口、トイレ（車いす使用者用トイレ、男女別トイレ）、園路	・令和6年度改修予定のため点検を要望

■主な意見・評価 (◎：良い点 △：課題として指摘された点)

対象施設	意見内容	
【A班】 医療法人財団逸 生会大橋病院	出入口 通路	◎出入口は広く、自動ドアとなっており、スロープにより段差を解消している。 △通路が狭く災害時避難が難しい。 △廊下に置かれた椅子等により手すりが途切れてしまうところがある。
	階段 エレベーター	△エレベーター内に側面ボタンがなく、車いす使用者用の低いボタンもない。 △階段付近に視覚障害者誘導用ブロックがない。
	トイレ	◎緊急時用ランプが設置されていた。(一般用、バリアフリースイレ) ◎乳幼児連れの方のためのおむつ交換台が設置されていた。 △車いすがなんとか入れる程度の広さで、全体的に狭い。
	駐車場	△車体後方からの車いす乗降に対する安全スペースに屋根が確保されていなかった。
【A班】 生活関連経路 (赤-03)	歩道	◎段差がなく歩きやすい。 ◎歩道の幅員は十分に確保されていると感じた。 △斜路の区間は擁壁側に拡幅しているが、横断勾配が8%を超えており歩きにくい。
【B班】 滝野川体育館	出入口 通路	◎ロビーは広々としていてよい。 △出入口に券売機は、肢体不自由者は上の方のボタンに手が届かない。自動販売機の事例のように、肢体不自由者でもボタンを押せるように下の方にボタンを設けるとよい。
	階段 エレベーター	△階段の手すりは太すぎて掴みにくい。また、大人・子どもや片麻痺の人が利用しやすいように2段手すりや両側に手すりを設置するとよい。
	トイレ	◎バリアフリースイレは、非常用ボタンが設置されている。 △バリアフリースイレの案内サインが旧名称「だれでもトイレ」のままだったので、「バリアフリースイレ」に変更するとよい。 △男女別トイレにベビーチェア、ベビーベッドを1か所以上設置するとよい。
	観覧席	△車いす使用者用観覧席には、介助者用の椅子があるとよい。
	案内 表示 案内表 利用 者動線	◎動線は、全体的に余裕があったので、動きやすいと思う。 △音声案内や触知案内図など、視覚障害者がわかりやすく現在位置等を把握できるものがあるとよい。
【B班】 滝野川公園	出入口 園路	◎遊具エリアへのスロープに、手すりを設置予定とのこと安心した。 △園路の舗装がブロック系舗装のため、車いす使用者はガタガタして通行しにくく、高齢者等の転倒の原因にもなる。アスファルト舗装の方がよい。
	トイレ	△大型ベッドを設置してほしいが、設置が困難であれば、隣接する滝野川体育館トイレに大型ベッドを設置し、施設間連携が図れるとよい。
	遊具	◎アスレチック遊具があり、水遊びができる場所があるとよい。 △安全基準に満たない古い遊具が多いので、改修時にはインクルーシブ遊具を設置するとよい。

### 1-3. 点検ルート

## A 班

○日時：令和5年10月16日(月)

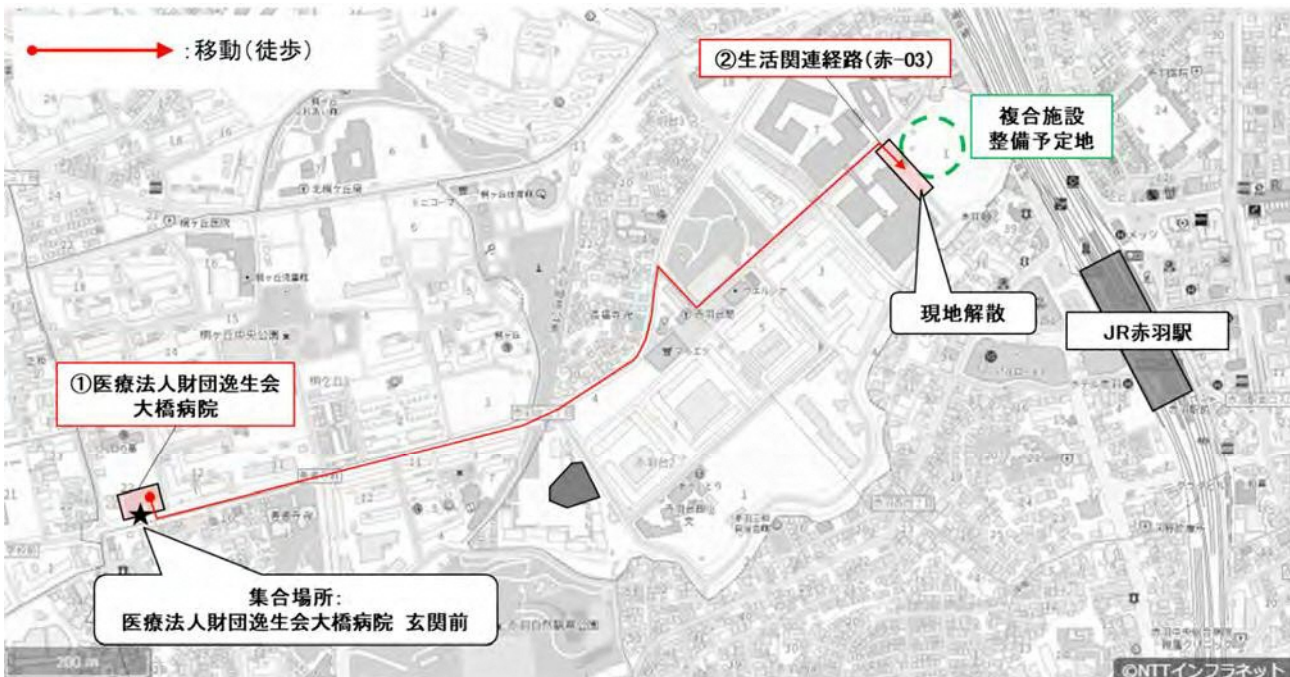
現地確認 13時40分～14時55分

○移動方法：徒歩

#### ●タイムスケジュール

時間	点検	移動	施設名	点検内容等
13:30			集合場所:大橋病院 玄関前	まちあるき点検の説明・出欠確認・資料確認等
13:40	0:30		① 大橋病院	移転工事に向けた全体的なバリアフリー点検 (出入口、通路、エレベーター、トイレ、駐車場等)
14:10		0:35	徒歩移動 1300	
14:45	0:10		② 生活関連経路(赤-03)	視覚障害者誘導用ブロック、幅員、段差、勾配等を確認(整備後点検)
合計	0:40	0:35		
	1:15		徒歩合計(単位:m) 1,300	

#### ●ルート図



## B 班

○日時：令和5年10月16日（月）

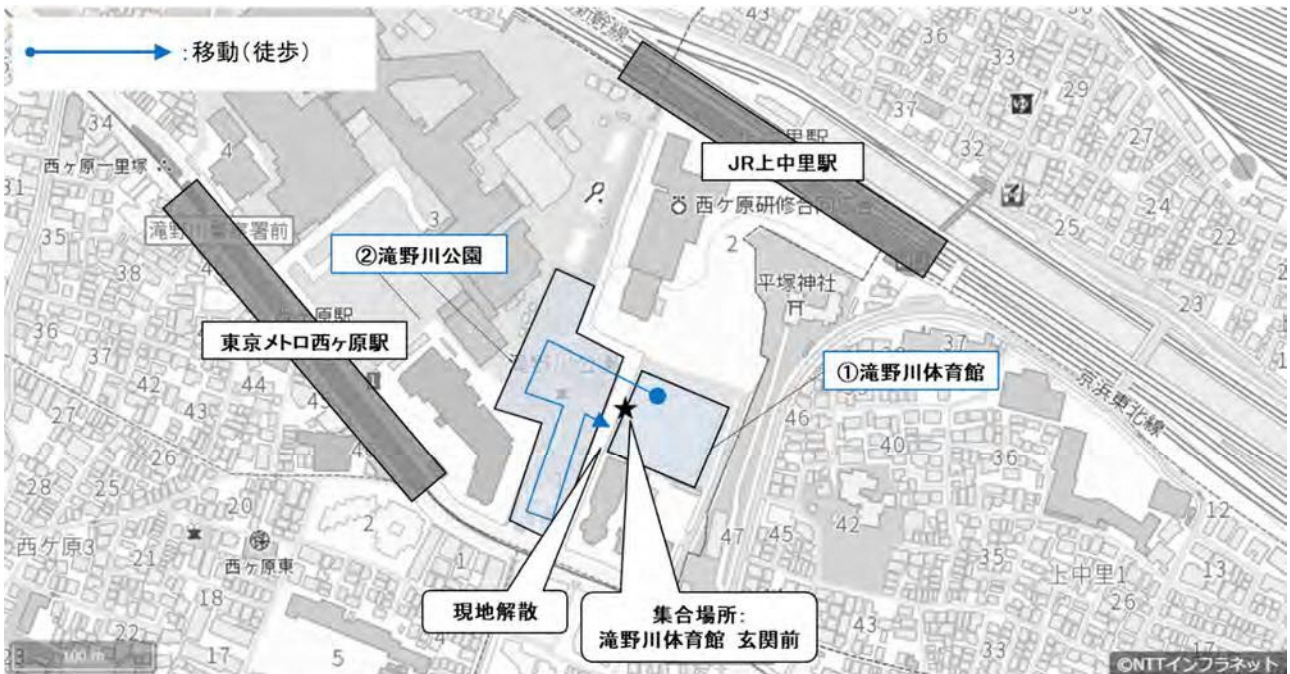
現地確認 13時40分～14時30分

○移動方法：徒歩

### ●タイムスケジュール

時間	点検	移動	施設名	点検内容等
13:30			集合場所：滝野川体育館 玄関前	まちあるき点検の説明・出欠確認・資料確認等
13:40	0:30		① 滝野川体育館	改修工事に向けた全体的なバリアフリー点検 (利用者動線、出入口、通路、エレベーター、トイレ等)
14:10	0:20		② 滝野川公園	改修工事に向けた全体的なバリアフリー点検 (出入口、園路、トイレ等)
合計	0:50	0:00		

### ●ルート図



## 1-4. 点検結果等

### 【A班】医療法人財団逸生会大橋病院

■意見・指摘事項（◎：良い点 △：課題として指摘された点 ☆：その他の意見）

<p>出入口・通路</p>	<p>◎出入口は広く、自動ドアとなっており、スロープにより段差を解消している。（写真1、2）  ◎屋内に段差はない。  △玄関の絨毯は年寄りには危ない。将棋倒しの危険がある。（写真3）  △通路が狭く災害時避難が難しい。（写真4）  △非常口前通路にストレッチャーが置いてあり避難の邪魔になる。  △廊下に置かれた椅子等により手すりが途切れてしまうところがある。（写真5）  △視覚障害者誘導用ブロックがない。</p>
<p>エレベーター・階段</p>	<p>△病床数の割りにエレベーターが1基だけで数が少ないため、避難時間に問題がないかが心配。大型エレベーターが必要。  △エレベーターの案内表示がなかった。  △エレベーター内に側面ボタンがなく、車いす使用者用の低いボタンもない。（写真6）  △階段の手すりに点字がない。  △階段付近に視覚障害者誘導用ブロックがない。</p>
<p>トイレ</p>	<p>◎緊急時用ランプが設置されていた。（一般用、バリアフリートイレ）（写真7）  ◎乳幼児連れの方のためのおむつ交換台が設置されていた。（写真8）  △トイレの数が少ないと思う。  △車いすがなんとか入れる程度の広さで、全体的に狭い。  △大型ベッドの利用が難しそうであった。</p>
<p>駐車場</p>	<p>△車いす使用者用駐車スペースがなく、表示もない。  △車体後方からの車いす乗降に対する安全スペースに屋根が確保されていなかった。（写真9）  △緊急車両停車位置にハウスが建てられていた。  △駐車場に勾配があり、団地側への道路方向の勾配がきつい。切り下げの段差も2cm以上あった。（写真10）</p>
<p>案内表示</p>	<p>◎各診察室が色別でわかりやすかった。（写真11）  ◎手作りによる案内表示に暖かさを感じた。  △不統一な掲示物が多すぎて、わかりにくかった。  △フロアの案内板に点字がない。</p>
<p>その他</p>	<p>◎病院内に薬局があり、外に行かなくて済むのでよい。  ◎送迎バスが運行されている。（写真9）  ◎受付に荷物台が設置されている。  △受付窓口の位置が高いため、車いす使用者が利用できるように部分的に低いカウンターがあるとよい。（写真12）  △受付では人的対応で、障害者対応しているとのことであったが、筆談具は設置されていなかった。</p>

△非常口がわかりにくい。診察室、検査室が全部 1 階にあり、待合室が患者であ  
 られると、いざという時に危険ではないか。  
 △防火区画の扉の開閉が心配であった。（開閉部にトラブルによる表示）  
 △前面道路に、視覚障害者誘導用ブロックが設置されておらず、敷地内や玄関出入  
 口までの誘導用ブロックも設置されていなかった。  
 ☆福岡市の「香風館」で「認知症の人にもやさしいデザイン」が導入された記事  
 を読んだ。壁と区別しやすい扉の色、文字とピクトグラムを床から 1.2m に大き  
 く表示する等、移転先の病院で導入していただきたい。

写真 1



写真 2



写真 3



写真 4



写真 5



写真 6



写真7



写真8



写真9



写真10



写真11



写真12



## 【A班】生活関連経路（赤-03）

■意見・指摘事項（◎：良い点 △：課題として指摘された点 ☆：その他の意見）

<p>歩道 （舗装、幅員、 段差、勾配等）</p>	<p>◎段差がなく歩きやすい。（写真1）  ◎歩道の幅員は十分に確保されていると感じた。  △縦断勾配は4%となっていたが、途中に踊り場がない。（写真2）  △斜路の区間は擁壁側に拡幅しているが、横断勾配が8%を超えており歩きにくい。（写真2）  △片側歩道となっているが、両側歩道（大学側にも歩道）があれば良かった。（写真3）  △歩道内に電柱があるため、有効幅員が狭まっている。（電柱設置部分の有効幅員1.85m、標準部分の有効幅員2.3m）（写真4）  △坂の縦断勾配が少しきつuitと感じた。雨、雪の日は、歩行者や車いす使用者は危険。滑り止め舗装が必要。  △歩道幅員が狭く、歩行者、自転車、高齢者が同時に並んだら危険。  △視覚障害者誘導用ブロックの明度差、帯が細いため、効果が低いのではないか。</p>
<p>その他</p>	<p>☆電柱の地中化はできなかったのか。  ☆旧赤羽台東小学校付近において、歩道上に雑草・雑木が張り出しており、歩道をほぼ塞いでいた。（写真5）</p>

写真1

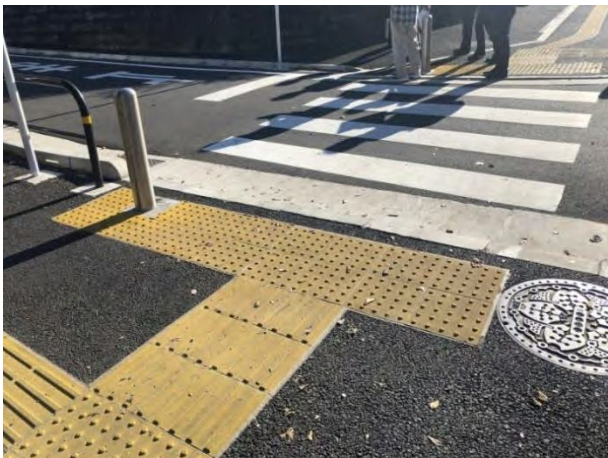


写真3



写真2



写真4





写真5



## 【B班】滝野川体育館

■意見・指摘事項（◎：良い点 △：課題として指摘された点 ☆：その他の意見）

<p>出入口・通路</p>	<p>◎ロビーは広々としていてよい。  ◎声をかければ、係員が親切に対応してくれる。  ◎スロープが設置されていてよい。  ◎出入口まで視覚障害者誘導用ブロックが敷設されていてよい。  ◎案内カウンターには蹴込みがあり、車いす対応となっていてよい。  ◎靴箱が新規に設置されていてよい。  △出入口の案内カウンターは、聴覚障害者用のコミュニケーションボードはあるが、それがあつことを知らせる案内や耳マークがなく、聴覚障害者にとっては不安に感じる。（写真1）  △案内カウンターの蹴込みの奥行が不十分だと感じた。車いす使用者はカウンターで書類の記入が困難である。（写真2）  △出入口の券売機は、肢体不自由者は上の方のボタンに手が届かない。自動販売機の事例のように、肢体不自由者でもボタンを押せるように下の方にボタンを設けるとよい。（写真3）  △自動ドアの幅は、介助者と一緒だと狭い。  △ロビーに掲示板がいくつか置かれていたが、視覚障害者や車いす使用者にとっては通行の邪魔になると思う。  △ロビーは広々としているので、もう少し有効利用ができるとうよい。  △正面出入口は、通常閉め切りとのことだが、大きい扉なので自動ドアにするとよい。  △スロープが長いので、自走の車いす使用者が楽になるように、途中で踊り場を設けるとよい。  △出入口からスロープまでの視覚障害者用誘導用ブロックは不要ではないか。  △舗装は目地が深いタイルなので、車いす使用者の通行はガタガタして通行しにくいと思う。  △出入口の傘立てや靴箱は、特に知的障害や発達障害の方にとっては、鍵を紛失する可能性があるため、ダイヤル式等、持ち物が増えないように工夫されるとよい。  △出入口に杖の置き場や荷物置き場があるとよい。  △エレベーターまで視覚障害者誘導用ブロックを敷設するとよい。  △エレベーターを利用して2階に移動した際、どこから土足禁止なのかがわかりにくい。</p>
<p>エレベーター・階段</p>	<p>◎エレベーターには、音声案内や窓ガラス、鏡なども設置されていて問題はない。  ◎エレベーターは車いす1台がゆったり入れる広さがあつた。  ◎階段の右側通行が表示されてあつたのはよいと思った。  △階段の手すりは太すぎて握みにくい。また、大人・子どもや片麻痺の人が利用しやすいように2段手すりや両側に手すりを設置するとよい。（写真4）  △階段室の明るさや一方通行の矢印の必要性について検討するとよい。  △階段の角度が急で歩きにくい。</p>
<p>トイレ</p>	<p>◎バリアフリートイレは、非常用ボタンが設置されている。</p>

	<p>△バリアフリートイレは、車いす使用者でもドアの開閉がしやすいように、自動ドアにするとよい。</p> <p>△バリアフリートイレの案内サインが旧名称「だれでもトイレ」のままだったので、「バリアフリートイレ」に変更するとよい。</p> <p>△バリアフリートイレに大型ベッドを設置するとよい。(写真5)</p> <p>△バリアフリートイレが1か所なのは少ないと思う。</p> <p>△バリアフリートイレ内にある便座消毒は上の方に設置されていて、車いす使用者は使用できない。</p> <p>△車いす使用者が使用できるトイレ、乳幼児設備(ベビーチェア、ベビーベッド)等、オストメイト用設備の機能が1か所に集約されているため、集中利用の防止や大型ベッドの設置スペースを確保するため、一般トイレにそれら機能を分散するとよい。</p> <p>△男女別トイレにベビーチェア、ベビーベッドを1か所以上設置するとよい。</p> <p>△車いすでも使用できる広さのブースを、男女別トイレに1か所ずつ設けるとよい。</p> <p>△男女トイレは、水をまいて掃除する湿式トイレであり、出入口に段差があるが、衛生面・においの面で優れている乾式トイレにすれば、段差は解消できる。</p> <p>△男女トイレのスリッパに履き替えることもバリアになるため検討が必要。</p> <p>△洗面所の蹴込みの奥行きが不十分だと感じる。車いすでも利用できるようにするとよい。</p> <p>☆トイレは施設利用者が使用することを前提としているため、靴を履き替えないと利用できないことに不便を感じる。土足禁止エリア外にトイレが設置されるとよい。</p>
観覧席	<p>◎車いす使用者用観覧席がある。</p> <p>△車いす使用者用観覧席は、車いす使用者が観覧するためのスペースであることを伝える案内サインを設置するとよい。(写真6)</p> <p>△車いす使用者用観覧席の透明アクリル板の幅を広げて、見える範囲を広げるとよい。</p> <p>△車いす使用者用観覧席には、介助者用の椅子があるとよい。</p> <p>△観覧席の階段には手すりを設置するとよい。</p>
案内表示・利用者動線	<p>◎動線は、全体的に余裕があったので、動きやすいと思う。</p> <p>△案内表示が少なく、案内カウンターの係員に聞かないと行きたいところにたどり着けない。各階の施設配置情報など、大きく見やすい案内表示を増やす必要がある。</p> <p>△トイレへの案内は大きく見えやすいが、もう少し手前に表示されるとよい。</p> <p>△エレベーターへの案内表示がわかりにくかった。</p> <p>△土足禁止エリアは、靴を履き替えるなどの説明・案内を掲示するとよい。</p> <p>△音声案内や触知案内図など、視覚障害者がわかりやすく現在位置等を把握できるものがあるとよい。</p> <p>△駐輪場の案内表示が不足している。</p>
その他	<p>◎2階アリーナ出入口の右側にスロープがあり、観覧席のレベルにアクセスできるようになっていた。</p> <p>◎非常用避難出入口は、図面上は防災センターにつながっていた。</p> <p>◎トレーニングルーム、器具、ロッカー、会議室があつてよい。</p> <p>△2階のアリーナ出入口の扉が狭い。</p> <p>△2階アリーナの時計は、数字があるタイプの方がわかりやすい(デジタルタイ</p>

プでもよい)。

△駐車場の場所や入口がどこにあるのかがわかりにくい。

△駐車場を改修する際は、リフトやスロープで車から降りる場合も想定してスペースを確保するとよい。

☆滝野川体育館は、住民が災害時に避難する施設ではないとのことだが、地域のイベントでも利用されていて、スポーツをしない人でも利用することが想定されるため、多様な人が利用できる整備が重要である。

写真 1



写真 2



写真 3



写真 4



写真 5



写真 6



## 【B班】滝野川公園

■意見・指摘事項（◎：良い点 △：課題として指摘された点 ☆：その他の意見）

<p>出入口・園路</p>	<p>◎広々としていてよい。  ◎遊具エリアへのスロープに、手すりを設置予定とのことで安心した。（写真1）  ◎視覚障害者誘導用ブロックが、道路（本郷通り）から連続している。  △園路の舗装がブロック系舗装のため、車いす使用者はガタガタして通行しにくく、高齢者等の転倒の原因にもなる。アスファルト舗装の方がよい。  △樹木の根上りで段差が生じている箇所は補修が必要。  △トイレまでの視覚障害者誘導用ブロックを設置するとよい。  △トイレ脇から公園の北の方に下るスロープは、段差が5cmもあり車いすでは通行できない。</p>
<p>トイレ</p>	<p>△大型ベッドを設置してほしいが、設置が困難であれば、隣接する滝野川体育館トイレに大型ベッドを設置し、施設間連携が図れるとよい。  △車いす使用者が利用できるトイレ、乳幼児設備（ベビーチェア、ベビーベッド）等、オストメイト用設備の機能を一般トイレに分散するとよい。  △聴覚障害者が緊急時だと認識できるフラッシュライトを設置するとよい。  △段差はすべて無くした方がよい。  △公園は避難所にもなるので、トイレは充実するべき。  △トイレの数が少ないため、出入口付近にもトイレが設置されるとよい。  △洋式トイレに改修するとよい。  △トイレの悪臭や汚れが目立つ。（写真2）  △バリアフリートイレのドアと可動式手すりが重く、摩擦音が鳴る。（写真3）  △バリアフリートイレの緊急呼び出しボタンは、壁中央と床付近の2か所に必要で、紐もつける必要がある。</p>
<p>遊具</p>	<p>◎アスレチック遊具があり、水遊びができるところがあってよい。（写真4）  ◎アスレチック遊具（吊り橋やロープ登り等）は残してほしい。（写真4）  ◎ゴムチップが敷かれる予定とのことで安心した。  △安全基準に満たない古い遊具が多いので、改修時にはインクルーシブ遊具を設置するとよい。  ☆大きな滑り台が懐かしかった。子どもの頃はよく遊んでいたが、今では安全基準の問題などでこのままではよくないと思った。</p>
<p>案内表示</p>	<p>◎防災施設の案内表示が大きいのは、防災拠点としてよい。  △防災放送のスピーカーが公園内に設置されているが、聴覚障害者が緊急時だと認識できるパトライトなどを設置するとよい。（写真5）  △初めて来た人だと、何がどこにあるのかわからない。視覚障害者にとっては、音声案内誘導装置等の設置など工夫が必要。  △公園トイレへの案内がわからない。  △公園全体の案内表示の設置や、ピクトグラムが表示があるとよい。  △音声案内や触知案内図など、視覚障害者への案内設備があるとよい。</p>
<p>その他</p>	<p>◎味わい深さはあるので、良さを残して改修できたらいいなと思う。  ◎池や壁泉など、都心のオアシスとして大変貴重な場であると思う。四季を感じることができ、子どもだけでなく、高齢者にもよい散歩コースになると思う。  ◎公園内の清掃がされている。  △犯罪防止のため、見通しのよい公園であるとよい。</p>

△熱中症対策のため、日陰となる箇所をつくるとよい。  
△木が茂っていて遊具周辺が暗くなっている。貴重な緑だが、安全のため、木を一部伐採して明るくするとよい。

写真1



写真3



写真5

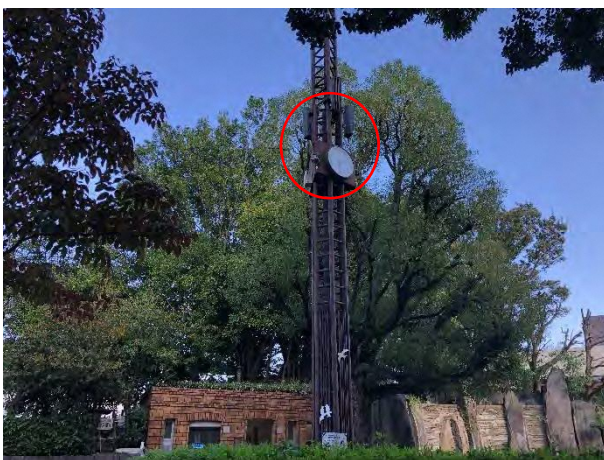


写真2



写真4



## その他気づいた点（点検対象以外を含む）

■意見・指摘事項（◎：良い点 △：課題として指摘された点 ☆：その他の意見）

<滝野川地区全体>

△滝野川公園、上中里駅、飛鳥の小径、平塚神社との動線の連続性にも配慮し、案内表示を充実させて散策のネットワークを形成してほしい。

<防災センター周辺>

△本郷通りから防災センター入口への視覚障害者誘導用ブロックが曲線になっており、かつ色あせている。滝野川公園側の誘導用ブロックとつないだ方がよいのではないか。

<トイレ共通>

△中高生以上の車いすの方や介助者を必要とする方が利用しやすいトイレが増えると嬉しい。トイレに大型ベッドを設置することが難しくても、施設内に気軽に紙パンツ等を交換できるスペースをつくっていただだけでもありがたい。トイレの床にシートを敷いて、紙パンツ交換をせざるを得ない状況が少しでも改善されることを願う。

## 事前に収集した意見（滝野川地区における良い点・気になる点）

---

■意見・指摘事項（◎：良い点 △：課題として指摘された点 ☆：その他の意見）

<滝野川地区について>

◎滝野川地区ルート周辺は、視覚障害者誘導用ブロックの連続的整備が他の地区よりも優れており、道路から各施設への動線の連続性は確保できている。

△施設間の動線の連続性や案内標識については課題があると思う。



## 今後まちあるき点検を実施したい施設・経路

- まちあるき点検参加者より、今後まちあるき点検を実施したい施設・経路についてご意見をいただきました。ご意見を参考に、来年度以降のまちあるき点検における対象施設・経路について検討していきます。

### <道路>

- ・王子駅～新庁舎建設予定地への経路（新庁舎の設計スタートと、王子駅周辺まちづくりガイドラインの策定着手を機に、多数の利用が想定される新庁舎予定地周辺の経路のバリアフリー上の課題を抽出する）。

### <建築物>

- ・北とびあ（改修工事が計画されているため、北とびあを含めた王子駅周辺の点検。地域としてバリアフリートイレの不備を心配する声がある）。
- ・東京都障害者総合スポーツセンター（障害者のための施設であるため、部会メンバーの勉強になる）。

### <公園>

- ・飛鳥山公園（バリアフリールートや博物館等の確認）。
- ・滝野川三丁目公園などの新しく整備した公園（出入口、園路、トイレ、遊具等のバリアフリー状況の確認をして、よいところを認識した上で他の公園の改修に活かす）。

## 2. こころのバリアフリーに関する取組(VR 動画体験会)について

### 2-1. 実施目的

北区バリアフリー基本構想推進区民部会では、日本工業大学の協力のもと「こころのバリアフリー」の推進に向けて、令和2年度にVRによる啓発動画を作成しました。

このVR動画を活用し、区民の方々へのこころのバリアフリーの普及・啓発をさらに推進していくため、北区の既存イベント（ハートスポーツフェスタ 2023）と連携したVR動画の体験会を実施しました。

### 2-2. 開催概要

#### ■日時

令和5年10月15日（日） 10時00分～12時00分

#### ■実施場所

赤羽体育館 3階 メインアリーナ（一部区画）

#### ■参加者

区民部会委員2名 一般参加者20名

＜案内ポスター＞

# こころのバリアフリー体験会 ～ VR 動画の視聴～

視聴時間  
約10分

- ◆VR動画を視聴して、「車いす使用者の状況」や「こころのバリアフリー」について知ろう！
- ◆小学生以下の方や、VRが苦手な方は、タブレットでの視聴が可能です！
- ◆VR動画の前編・後編の視聴後に、アンケートへのご協力をお願いいたします！









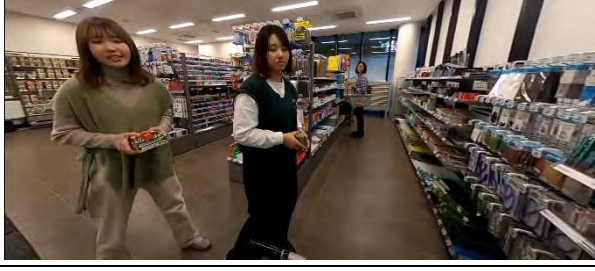

北区まちづくり部都市計画課

<開催の様子>



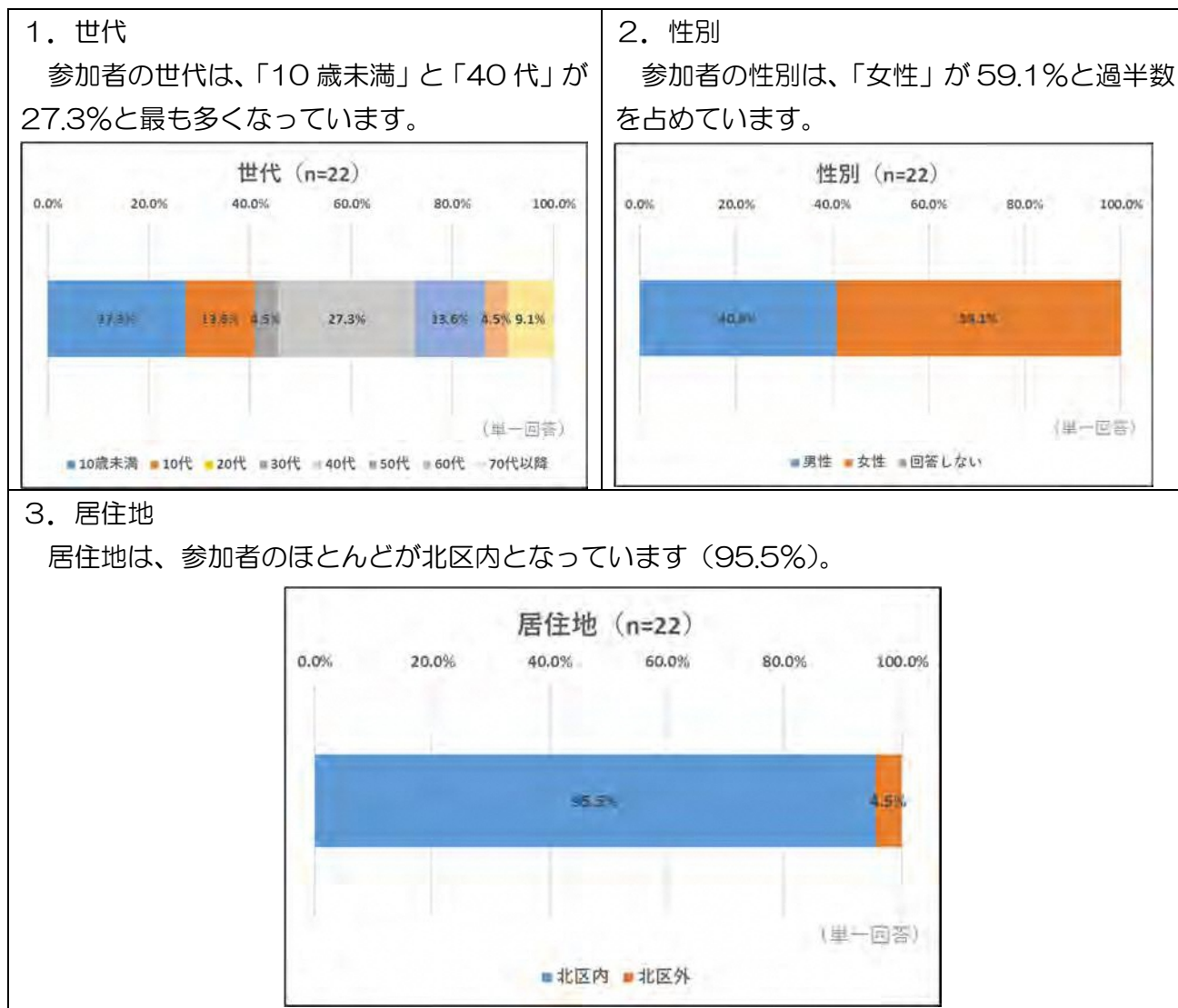
■VR 動画の概要

車いすの学生（とその介助をする友人）が、コンビニエンスストアを利用する際の経験について、気付きを促す字幕表示と共に紹介しています。悪いシチュエーション（こころのバリアフリーがない場合）を見た後に良いシチュエーション（こころのバリアフリーがある場合）を見ることで、こころのバリアフリーの必要性や、一人ひとりの行動により障害のある人の気持ちや利用しやすさが変わることへの理解を深めるものとなっています。

シーン1：お客さんが通路に置いてあるかごが邪魔で通れない	
悪い例	良い例
	
シーン2：品出しをしている店員がいて棚に近寄れず、欲しい商品が取れない	
悪い例	良い例
	
シーン3：目を見て話してもらえない（介助者と話してしまう）	
悪い例	良い例
	
シーン4：車いすで店を出るのにこずっていると他のお客さんに文句を言われる	
悪い例	良い例
	

## 2-3. 参加者の反応

VR動画について、参加者の方々に体験してもらい、アンケートに回答してもらいました。



※次ページに続く

#### 4. VR 動画・こころのバリアフリーについて

全体的に、VR 動画やこころのバリアフリーの啓発について効果的な評価を得られました。

